

第3学年国語科学習指導案

1 単元名 場面の様子を想像しながら読もう「ちいちゃんのかげおくり」

2 単元の展開にあたって

— 教材のよさ —

かげおくりという楽しい遊びが出征する父との別れの記念写真になってしまう。楽しい思い出は、ちいちゃんの心に強く残り、やがてちいちゃんを天国へと導くものとなる。この教材は「かげおくり」という遊びを軸に幼いちいちゃんの視点を通して、家族をバラバラにし、命までも奪った戦争の悲惨さや理不尽さを表している。つらい状況の中で健気に家族を待ち続け、昇天していく幼いちいちゃんの姿を通して、戦争の残酷さや「生きる」ということについての意識を高めさせることができる教材と考える。また、ちいちゃんの家族のそれぞれが置かれた状況や、家族でしたかげおくりとちいちゃん一人でしたかげおくりを比べることで作品の主題に迫らせることができ、家族やちいちゃんの行動や様子を通して、人の思いや考えを比べたりしながら自分の考えを深めることができると考える。

また、本単元は、場面の構成がはっきりしており、叙述の中で情景や主人公の心情を想像しながら読み取ることができる教材である。文章表現では「さげびます」ではなく「さげんでいます」のように読者を緊迫した状況に立たせる表現があり、さらに時折用いられる「のどがかわいています」などの現在形の表現は、読者をちいちゃんと一体化させるものと考えられる。

— 学年の子どもの実態 —

朝の音読タイムや国語学習の初めの時間を使って繰り返し音読を練習したことで、すらすら読めるようになってきている。子ども達は、1学期に「きつつきの商売」と「三年とうげ」の学習を通して、情景や人物の気持ちを読み取る学習をしているが、文や言葉の中に含まれている意味を深く読みとるまでは至っていない。また自分の考えを自信を持って発表したり、筋道を立てて話したりすることが苦手な子ども達もいる。そこで様子や気持ちが良く表れている所に書き込みをした後で、発表カードを用いて自分の考えを発表させる方法をとった。子ども達は書き込みが初めてなので文や言葉をいくつか絞って書き込みをしていった。そして発表カードを用いることで、今まで発表できなかった子ども達もだんだん発表できるようになってきた。しかし、自分の考えを発表することはできるが、友だちの意見を聞いてお互いの共通点や相違点をもとに深まる交流には、まだ至っていない。

— 学習内容と指導・支援の考え方 —

本単元の指導にあたっては、かまえる段階で「ちいちゃんのかげおくり」という題名から想像したことや冒頭をつないで読みのめあてを考えさせる。次に読みのめあてに沿って全文を読み通し、あらすじをとらえた上でどんなかげおくりかを話し合い、ちいちゃんの気持ちを中心に学習計画を立てる。

深める段階では、学習計画に沿って、場面ごとにちいちゃんの様子や気持ちを読み取らせる。自分たちと同じようなごく普通のちいちゃんの家族、そして「かげおくり」という楽しい遊びに象徴されるような平和な日々が戦争によって壊され、子ども達の命までも奪っていく戦争の悲惨さを、ちいちゃんを取り巻くものの変化とちいちゃんの様子や気持ちを通してしっかり考えていく。そこで、場面ごとのちいちゃんの様子や気持ちの読み取りにおいては、音読を取り入れたり、繰り返しや類縁語に着目して読み取り方の例示を行ったりして、どの子にも自分なりの読み取りと、書き込みができるようにする。そして話し合いにおいては、相違点共通点を明確にした上でグループ交流を取り入れて、読みを深めていく。

3 単元の目標

- 時間の経過から場面をとらえたり、繰り返しや類縁語に着目したりして、家族でかげおくりをして喜んでいった幼いちいちゃんが、ひとりぼっちになりかげおくりをして空にすいこまれていくまでの様子や気持ちを想像し、命のかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができる。
- ◎ ちいちゃんの家族に会いたい思いを根拠となる叙述とつないで書きまとめ、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うことができる。

4 学習計画（全14時間）

段階 時間	主な学習活動と内容	指導上の留意点（※伝え合う力を育てる支援）
1 ・ 2 / 14 か ま え る	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 題名，冒頭から，読みのめあてをつくろう。 </div>	○ これまでの物語文の学習を振り返りながら，学習の見通しを持たせる。
	2 題名「ちいちゃんのかげおくり」から，どんなお話か内容を考える。 3 冒頭を読み，どんな場面かを話し合う。	○ 「ちいちゃん」・「かげおくり」という二つの言葉に着目して考えさせる。また，「の」の働きから「ちいちゃんの…」と限定されている特別なかげおくりであることを気付かせる。 ○ 時・場所・登場人物を確認する。 ○ 「かげおくり」は，お父さんが，出征する前日に教えてくれた遊びであることを確認する。
	4 題名と冒頭をつないで読み，読みのめあてを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 読みのめあて ちいちゃんはこれからも，かげおくりができるのだろうか。 「ちいちゃんのかげおくり」とは，どんなかげおくりだろう。 </div>	○ 「かげおくりなどできなくなりました」という文から，これから先のお話に興味を持たせる。 ※ 誰がどういうふうにしたかげおくりなのかに着目させ，家族四人でしたかげおくり・おにいちゃんと二人でしたかげおくりと比べて考えさせる。
	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 全文を読み，読みのめあてに対する答えを考えよう。 </div>	
3 ・ 4 / 14	2 全文の範読を聞き，音読をする。 3 冒頭を含めて五つの場面に分ける。 4 それぞれの場面でのちいちゃんの言動を大まかに読み取り，段落ごとに短くまとめ，あらすじをつかむ。 5 ちいちゃんのかげおくりとはどんなかげおくりなのか，書きまとめる。	○ 難しい言葉，分からない言葉を確認する。 ○ 一行あきや挿し絵，時を表す言葉を手がかりに，五つの場面に分けさせる。 ○ ちいちゃんの言動に着目させ，それぞれの場面を学習プリントにかんたんにまとめて書かせる。 ○ あらすじをとらえさせ，4の場面をもとにどんなかげおくりかを簡単に書きまとめさせる。
5 / 14	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 読みのめあてに対する答えを話し合い，学習計画を立てよう。 </div>	
	2 読みのめあてに対する自分の考えを出し合い，答えを考える。	○ 場面ごとのちいちゃんの様子と気持ちの変化に目を向け，家族みんなでやったかげおくりと4の場面のかげおくりを比較して考えさせる。

か
ま
え
る

予想される読みのめあての答え

ちいちゃんは1人ぼっちになってしまったけれど、家族と会えることを信じて、最後の力を振り絞って、たった一人でかげおくりをして、やっと空の上で家族に会えた。ちいちゃんにとってうれしいかげおくり。でも、本当はたった一人で命を送った悲しいかげおくり。

3 ちいちゃんの気持ちを中心に学習計画を立てる。
読み確かめる視点

○ 家族にあいたくてたまらないちいちゃんの気持ちを場面ごとに追っていくことを確かめさせる。

- ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み取る。
- ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを考える。
- ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子から、どんなかげおくりなのかを読み取る。
- 5の場面で現在の公園で遊ぶ子どもたちが書かれている意味を考える。

ふ
か
め
る
6
・
7
/
14

1 本時のめあてを確認する。

お母さんとはぐれて、ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを考えよう。

2 2の場面を音読し、空襲の中で家族と離れ離れになったちいちゃんの様子や気持ちを学習プリントに書き込む。

※ 「お母ちゃん、お母ちゃん。」と「お母ちゃん。」を音読をすることにより、ちいちゃんの気持ちのちがいを比べて書き込ませる。

3 読み取ったことをもとに、話し合う。
(1) 必死で逃げるちいちゃんとお母さんらしい人を見つけたときのちいちゃんの気持ちを考える。

○ 「ひとりぼっちになりました」を中心にたたみかけるような表現を音読させ、「お母ちゃん。」というちいちゃんのさげび声をつないで、ちいちゃんが一人ぼっちになるまでの様子を読み取らせる。

(2) たくさんの人達の中で眠るちいちゃんの気持ちを考える。

※ お母ちゃんとお兄ちゃんとはぐれ、たくさんの人達の中で眠り、一人ぼっちになっているちいちゃんの気持ちをグループで話し合わせ、不安な気持ちを読み取らせる。

4 本時の学習のまとめをする。

1 本時のめあてを確認する。

ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを考えよう。

2 3の場面を音読し、家族に会えると信じて待ち続けるちいちゃんの気持ちを学習プリントに書き込む。

○ 「きっと帰ってくるよ。」を中心に、焼け跡で一人ぼっちで家族を待ち続ける様子や、体が弱っていく様子を想像しながら、家族に会いたいと強く願うちいちゃんの気持ちを読み取らせる。

3 読み取ったことをもとに、話し合う。
(1) すっかり変わってしまった町の様子
(2) 家族に会いたいちいちゃんの願い
(3) 壊れかかった防空壕の中でのちいちゃん

※ 「きっと帰ってくるよ。」という言葉はだれがだれに言ったのか、なぜそんなことを言ったのかを考えさせて、それをもとにグループで話し合わせる。

4 本時のまとめをする。

組
本
時

10 ・ 11 / 14 二 組 本 時	1 本時のめあてを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> たったひとりでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを考えよう。 </div>	
	2 4の場面を音読し、家族に会いたくて、たった一人でかげおくりをするちいちゃんの様子と気持ちを発表プリントに書き込む。	※ 1の場面のかげおくりと比べ、かげおくりをするちいちゃんの体の様子に気をつけて書き込みをさせる。
12 ・ 13 / 14 ま と め る	3 読み取ったことをもとに、話し合う。	○ 「ふらふらする足をふみしめて・・・」という叙述から弱り切った体で、家族に会いたくて必死で立ち上がり、かげおくりをするちいちゃんの様子と気持ちを読み取らせる。
	(1) 「ふらふらする足をふみしめて」かげおくりをするちいちゃんの様子や気持ち	
	(2) たった一つのかげぼうしを見つめながら数え出すちいちゃんの様子	
	(3) 「きらきら」笑い出したちいちゃんの様子や気持ち	※ 「ちいちゃんは、きらきらわらいだしました。」という叙述から、かげおくりをするちいちゃんの様子や読み手である自分たちから見たらどうかを観点に、嬉しいといえるかどうかを、グループで交流させる。
(4) 「小さな女の子の命が空に消えました。」の意味について考える。	※ なぜ「ちいちゃんの命」ではなく「小さな女の子の命が空に消えました。」と書いたのか、言葉を比べたりこれまでの学習を振り返ったりさせながら考えさせる。	
12 ・ 13 / 14	1 本時のめあてを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> 最後の場面に現在の子どもたちの様子が書かれている意味を考えよう。 </div>	
	2 5の場面を音読し、現代の子どもたちとちいちゃんの様子を比べながら書き込む。	※ 「それから」何十年の指示語や、4の場面と5の場面の「きらきら」という言葉を比べ、「ちいちゃんのかげおくり」とはどんなかげおくりかを書きまとめさせる。
14 / 14	3 書き込みをもとに話し合う。	
	○ 空の上できらきら笑っているちいちゃんと公園で笑っている現代の子ども達。	
	1 本時のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> ちいちゃんのかげおくりの読みのまとめをしよう。 </div>		
2 これまでの学習を振り返り、感想を書く。	○ 題名の意味や作者の伝えたいことを考えて書き	
3 読み方のまとめをする。	まとめさせる。	

第3学年国語科学習指導案

5 本時 9 / 14

6 本時の目標

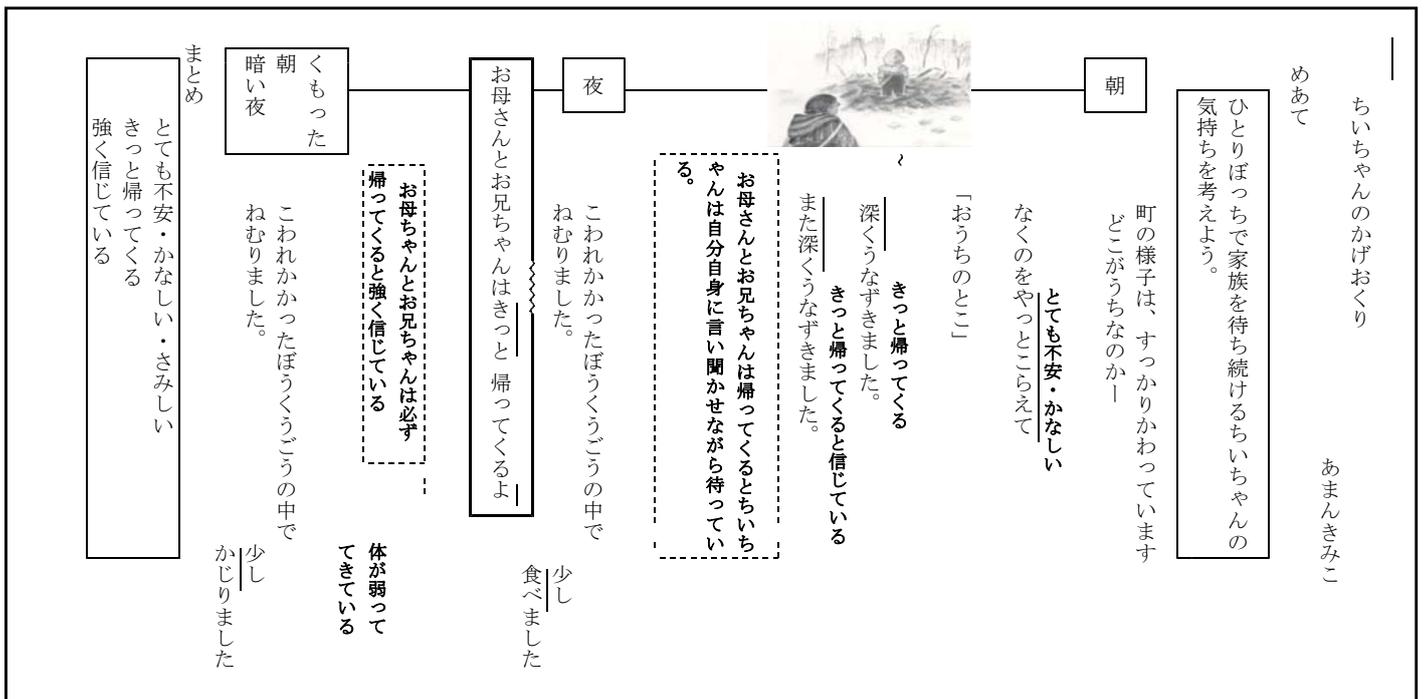
- ひとりぼっちでお母さんとお兄ちゃんの帰りを待ち続けているちいちゃんの気持ちを読み取り、お母ちゃんとお兄ちゃんはずっと帰ってくると強く信じているちいちゃんの様子を読み確かめることができる。
- ◎ 学習プリントを使って自分の読みを書き込み、発表したり友達の読みとの共通点・相違点に気付いたりすることができる。

7 本時学習を進めるにあたって

- 本時は、家族に会いたい強い願いを持って、お母ちゃんとお兄ちゃんの帰りを信じてひたすら待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み確かめる学習である。子ども達は、前時までに激しい空襲の中でお母ちゃんとお兄ちゃんにはぐれひとりぼっちになったちいちゃんの寂しさや不安を学習してきている。

本時学習は、前時に書き込みをした家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちに分かる言葉を時間的な順序に沿って読み取っていく。なかでも「深くうなずきました。」と「また、深くうなずきました。」の違いや、「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」は、音読を生かして読み深めていく。特に、「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」は、立ち止まり音読させる。町の様子がすっかり変わり、ちいちゃんの家も焼け落ちた状況の中でのちいちゃんの行動や会話をたどっていきながら、ちいちゃんの家族に会いたい強い願いを読み取らせていく。ちいちゃんが、泣くのをやとこらえて言った「おうちのどこ」や「ここがお兄ちゃんとあたしの部屋」、また、お婆さんの問いに繰り返し深くうなずいたところをつないで考えていく。そして、次に「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。」の叙述から「きっと」や「～よ」の言葉に着目して、お母ちゃんとお兄ちゃんが絶対にここに帰って来るんだと信じているちいちゃんの気持ちを読み取らせ、誰が誰に言っているのか、なぜそんなことを言ったのかを問い、グループで交流させていく。また、壊れかかった防空壕の様子の中で「ほしいいを少し食べました。」や「ほしいいを、また少しかじりました。」をつないで比べさせることでちいちゃんの体も弱っていていることを読み取らせる。

8 板書計画



9 本時の展開

配時	主な学習活動と内容	指導上の留意点（※伝え合う力を育てる支援）
3	1 2 場面の学習を想起し、本時学習のめあてを確認する。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを考えよう。</div>		
7	2 3の場面を音読する。	○ 音読で本時の学習場面を確認する。
25	3 前時の書き込みをもとにちいちゃんの気持ちについて話し合う。 (1) なくのをやっところえて「おうちのところ」と言ったちいちゃんの気持ち。 ・ひとりぼっちでとても不安 ・お母さんがいないのでとてもさみしい。 ・おうちに帰ったらお母さんとお兄ちゃんがいるような気がする。 (2) 「深くうなずきました。」「また深くうなずきました。」と繰り返しているちいちゃんの気持ち。 ・ 本当に帰ってくると思っている。 ・ 帰ってくると自分に言い聞かせている。 ・ 待っていたらお母ちゃんが迎えに来てくれる。 (3) 壊れかかった暗い防空壕の中で言った「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ」に込められているちいちゃんの気持ち。 ・ 絶対帰ってくると思っている。 ・ さみしいけど帰ってくるまでここでまっている。 ・ お母ちゃんとお兄ちゃんが帰ってくるまで、きつくても頑張って待つんだ。	※ 話し方、聞き方を確認し、今日のめあて話し合っていくことを確認させる。 ○ 学習プリントをもとに発表させる。 ○ 朝の町の様子・・・挿し絵や写真 一夜明けた町のようにすがすがり変わっていることを具体的につかませる。「どこがうちなのか」の叙述から想像させたり、当時の写真を見せたりしてイメージさせる。 ※ 「ちいちゃんは深くうなずきました。」「また深くうなずきました。」のところで読み取ったちいちゃんの気持ちを話し合う。 ※ 「きっと帰ってくるよ」と言う言葉は、だれがだれに言ったのか、なぜそんなことを言ったのかを考えさせて、それをもとにグループで話し合わせる。 ○ 「少し食べました」「少しかじりました。」をつないで比べさせ、ちいちゃんが弱っていることを分らせる。
10	4 本時学習をまとめをする。 (1) 本時の学習で読み確かめたことをまとめる。 (2) 今日の学習でを書きまとめる。	※ 板書をたどりながら学習をまとめていく。 ※ 自分の読みが誰のどんな読みやどんな話し方によってどう深まったかを観点として書きまとめさせる。 ○ 自己評価をさせ、学習を振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一人ぼっちになったちいちゃんはとても寂しくて不安だけど、お母ちゃんとお兄ちゃんはきっと帰ってくると強く信じて待っている。</div>		

第3学年国語科学習指導案

5 本時 11 / 14

6 本時の目標

- 家族に会えると信じて、ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読みとり、命のかげおくりをするちいちゃんの様子を読み確かめることができる。
- ◎ 学習プリントを使って自分の読みを書き込み、発表したり友達の読みとの共通点・相違点に気づいたりすることができる。

7 本時学習を進めるにあたって

本時は、家族が帰ってくると信じながら、一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子を読み取り、ちいちゃんの命のかげおくりであることを読み確かめる学習である。

子ども達は、前時までにひとりぼっちになってしまったちいちゃんの様子や気持ちを考えてきた。おぼさんの問いかけに、お母さん達はここに帰って来ると深くうなずいた時のちいちゃんの思い。自分たちより小さな子どもであろうちいちゃんが、暗い防空ごうの中で家族に会えると信じて四日間も待ち続けた思いをしっかり押さえることで、本時の「ちいちゃんがたったひとりでするかげおくり」へつなげていきたい。

そこで、本時学習を進めるにあたっては、まず、前時学習で書き込んだ自分の考えを音読と共に確かめ、発表と話し合いへの構えを持たせる。つぎに、四日目の朝がきて「暑いような寒いような」「ひどくのどがかわいて」という叙述から、ちいちゃんの体がとても弱っていることを読み取らせる。「ちいちゃんはふらふらする足を踏みしめて立ち上がると、たった一つのかげぼうしを見つめながら、数えだしました。」という中心文から、家族に会いたいちいちゃんが弱った体で一生懸命一人でかげおくりをする様子や気持ちを読み取らせる。「ふみしめて」という言葉に着目して、ちいちゃんの願いの深さを読み取らせる。そうした読み取りの後、「きらきらわらいました。」という言葉をもとにこのかげおくりは、本当に嬉しいのかどうなのかを問い、グループでの交流をさせる。このときに「体がすうっとすきとおって、空にすいこまれていくのが分かりました。」「小さな女の子の命が、空に消えました。」にも気付かせていく。また、冒頭での家族全員でしたかげおくりと、本時の場面のかげおくりを比べたり、ちいちゃんにだけ聞こえたであろう幻の家族の声、幻のかげぼうしを読み取らせ、家族に会いたいちいちゃんの気持ちの強さを話し合う。

8 板書計画

場面の様子を想像しながら読もう

ちいちゃんのかげおくり

めあて

一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちを読み取り、ちいちゃんのかげおくりとはどんなかげおくりかを考えよう。

あまんきみこ 作

明るい光が顔に当たって
暑いような寒いような

四日目である

暑いのも寒いのも分らないくらい
ちいちゃんの体はとても弱っている

お父さんの声が青い空からふつてきました
お母さんの声も青い空からふつてきました

ちいちゃんにだけ聞こえてきた
(幻の声)

弱った体で一生懸命立とうとしている
ちいちゃんはふらふらする足をふみしめて立ち上がると、
家族に会えるを信じてかげおくりをしようとしている

たった一つのかげぼうしを見つめながら数えだしました。

声が重なって聞こえて出しました

いつの間にか聞こえてきた

「ひとうつ、ふたあつ、みつつ。」
「ようつつ、いっつつ、むうつつ。」
「ななあつ、やあつつ、ここうつつ。」

「とお。」

青い空にくっきりと、白いかげが四つ
体がすうっとすきとおって、そらにすいこまれる
のがわかりました

ちいちゃんの命がなくなつた。
空の上で家族に会えた

きらきらわらいました
ました

やっと会えた
とてもうれしい。

まとめ

家族に会いたくてたまらないちいちゃんは、かげおくりをしてやっと空の上で家族に会えた。でもそれはたった一人を命を空へ送ったかなしいかげおくりである。

小さな女の子の命が、空に消えました
ちいちゃんと同じような小さな子ども達の命が消えていった。

9 本時の展開

配時	主な学習活動と内容	指導上の留意点（※伝え合う力を育てる支援）
3	1 前時までの学習を想起し，本時学習のめあてを確認する。	○ 前時までのちいちゃんの様子と本時の場面の中心文を確認する。
ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの様子や気持ちを読み確かめよう。		
7	2 4の場面を音読する。	○ 音読で本時の学習場面を確認させる。 ※ 話し方，聞き方を確認し，今日のためについて話し合っていくことを確認させる。
25	3 前時の書き込みをもとに 一人ぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを話し合う。 (1) 「暑いような，寒いような気がしました。」 「ひどくのどがかわいています。」 ・ 暑いのか，寒いのか分からないくらい体が弱っていること。 (2) 「ちいちゃんは，ふらふらする足をふみしめて立ち上がると，たった一つのかげぼうしをみつめながら数えだしました。」という文から，ちいちゃんの気持ちを話し合う。 ・ 家族に会いたくてたまらない (3) 「きらきら笑い出した」ちいちゃんの気持ちを話し合う。 (4) 「小さな女の子の命が消えました。」と書かれている意味について考える。	○ 学習プリントをもとに発表させる。 ○ “明るい光が顔に当たって”というところで，前にさかのぼって時の流れをたどり，四日目の昼ごろであることを押さえる。 ○ 「ふらふらする足をふみしめて・・・」という叙述から弱り切った体で，家族に会いたくて必死に立ち上がり，かげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み取らせる。 ○ 1の場面の家族みんなでのかげおくりと対比させながら音読させる。 ※ 「きらきらわらいだしました」という叙述から，ちいちゃんは嬉しいといえるのか，そうではないのか，読み手である自分たちからちいちゃんを見たらどうかという点についてグループで交流させる。 ○ なぜ，「ちいちゃんの命」ではなく「小さな女の子の命が消えました。」と書かれているのか，言葉を比べたり，これまでの学習を振り返ったりさせながら考えさせる。
10	4 本時学習のまとめをする。 (1) 本時の学習で読み確かめたことをまとめる。 (2) 今日の学習でを書きまとめる。	※ 板書をたどりながら学習をまとめていく。 ※ 自分の読みが，誰のどんな読みや，話し方によってどう深まったかを観点として書きまとめさせる。 ○ 自己評価をさせ，学習を振り返らせる。
家族に会いたくてたまらないちいちゃんは，かげおくりをしてやっと空の上で家族に会えた。でもそれはたった一人で命を空へ送った悲しいかげおくりである。		